

2021年3月23日

「5周年記念シンポジウム「罪」と「障害」～誰もが共に生きる社会へ～」レポート

今年度最後のセミナーは、2021年3月13日（土）に東京TSネット法人5周年記念のシンポジウムとして開催されました。当初は、会場とオンラインの開催でしたが、コロナ禍による緊急事態宣言中であり、完全オンラインで開催されました。北は北海道、南は宮崎県まで約150名もの方にご参加いただきました。

第1部では、東京TSネットのご紹介をした後、TSの生みの親でもある野澤さん、そして東京TSネットの初代代表理事である浦崎さんに「TS（トラブルシューター）って？～今までとこれから」というテーマでお話をいただいた後、東京TSネットのスタッフも加わってディスカッションを行いました。

野澤さんには、日本におけるトラブルシューターのはじまりについての話がありました。そして、公的な制度ではもはや対応できない社会的な課題の解決に向けて、地域共生社会におけるトラブルシューターの必要性についてお話をいただきました。

浦崎さんには、東京TSネットの設立の経緯から、司法と福祉の連携の壁や、弁護士とソーシャルワーカーの協働の意義について、浦崎さんならではの切り口でお話いただきました。

ディスカッションでは、Zoomのチャット機能を使い、参加者の皆さんと共に野澤さん、浦崎さん、東京TSネットのスタッフで、意見交換を行いました。弁護士とソーシャルワーカーの価値観の違いについてなど、東京TSネットの活動をさらに展開していくための示唆を多くいただく機会となりました。

第2部のテーマは「罪」と「障害」～誰もが共に生きる社会へ。

出所者のための求人紙「Chance」を発刊している（株）ヒューマン・コメディの代表取締役である三宅さんの講演から始まり、その後東京TSネットでは更生支援コーディネーター継続研修など毎年お世話になっている山口県立大学教授の水藤さん、長崎県地域生活定着支援センターの所長として更生支援の第一人者として従事されてきた厚労省の伊豆丸さん、そしてインクルーシブ教育など様々な研究と提言をされてきたLITALICO研究所所長の野口さんにお話をいただきました。

共通して、「想像力」という言葉が出てきたのが印象に残っています。

犯罪者であるということだけではなく生きづらさがあったのではないかと想像すること、自分とは背景や環境が異なる人について想像をしてみること、想像することで「価値」にあたる部分の共有ができていくことなど、講師の方々から改めて言語化していただきました。

参加者の方からも多くの質問をいただき、シンポジウムとして様々な意見交換ができました。

女性の支援という点では社会復帰の難しさについても話があがりました。受け皿があまりに少ないことや、他者との関係性や文脈の中で犯罪に至ってしまい孤立した人も多く、女性特有のニーズがあるという点もディスカッションの中で話されました。

その他にもたくさんのご質問やご意見をいただきました。講師の方の意見を伺いながら、参加された皆さんと一緒に学んで考える時間を共有できたと感じています。伊豆丸さんの素敵な笑顔の写真を拝見し、共生社会について改めて考える時間になりました。

改めて参加された皆さん、講師の方々には感謝を申し上げたいと思います。

今回のシンポジウムを終え、東京 TS ネットとして以下について再度力を入れていきたいと感じています。

1つ目は、「当事者性が TS の活動の原点である」と野澤さんからもお言葉をいただきましたが、東京 TS ネットは再度「当事者性」というものを強く意識し活動していきます。そして、様々な価値観で意見交換しながら繋がっていくネットワークをこれからも作っていくことが重要であり、ミッションであると再認識いたしました。

2つ目は、今までの実践を言語化していくことも重要であるという水藤さんからの言葉もありましたが、今後も東京 TS ネットにしか発信できないものを形にしていきたいと思います。

これからも東京 TS ネットは皆さんと一緒に活動していきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<アンケートについて>

今回、多くの方にアンケートにも答えていただけていました。また、「コーディネーターとして活動したい」という声もあり、非常に嬉しいお声をいただきました。一部をご紹介します。

- ・弁護士、ソーシャルワーカーの二人三脚が大切であることと専門性だけではなく当事者性の大切さがわかった。

- ・司法と福祉の世界観の違いを、どうやってお互いが知り、尊重していくのか。重要なことだと思います。

- ・社会を変えることを目的にしてはいけない。我々はリレーをしているのだというお話がとても印象に残りました。

- ・弁護士と社会福祉士の協働について、少しイメージを持てた。

- ・知識と思いを具現化する支援者を地域とシステムの中に作っていく必要があるなと思いました。

- ・社会の中で受け入れてもらえる場所は、フォーマル、インフォーマル関係なくつながって行く事、受け入れ先を増やすことの大切さを感じました。

- ・それぞれの機関の取り組みを知ること、まだまだ課題の多い現状について危機意識を持つと同時に、あらゆる側面からの協働が肝要であると再認識しました。

- ・登壇された先生方の発言や姿勢に感銘を受ける場面が多々ありました。今後ともリアルな繋がりを大切にするとともに、行政に携わる一職員として施策と実践のリンケージには気を配っていきたいと思います。

- ・本日のお話でともに時間を重ねることの大切さを教えていただきました。今後の支援に生かしていきたいですし、私もリレーの一部を担えるようになっていけたらと思います。これからも研修等参加していきたいです。ありがとうございました。

一般社団法人東京TSネット



水藤昌彦さん 山口県立大学社会学部教授



伊豆丸剛史さん 厚生労働省矯正施設受刑者地域支援対策司



三宅晶子さん 株式会社ヒューマン・コミュニケーション代表取締役



野口晃菜さん LITALICO 研究所所長



野澤和弘さん 一般社団法人スローコミュニケーション・センター代表理事



浦崎寛泰さん 弁護士・一般社団法人東京TSネット初代代表理事

5

周年

シンポジウム

東京TSネットは、
2020年度で法人化5周年を迎えました！
そこで、2021年3月13日に、
5周年を記念した特別なシンポジウムを開催します。
今後の「罪に問われた障害のある人への支援」について
たくさんを知ることのできる貴重な機会です。
ぜひご参加ください！

2021年3月13日(土)
10:00~17:00

◆お申込み◆

参加費：2,000円（学生の方は無料）

<https://tokyots-5s.peatix.com/> よりお申し込みください。（申込み締切り：2021年3月12日（金））

会場での参加・WEB配信での参加をお選びいただけます。

※新型コロナウイルスの感染状況により、完全オンラインでの開催となる可能性もあります。

こちら📄のQRコードからお申込みいただけます！

注意事項を記載しておりますので、かならずご一読の上、お申込みください。



◆お問い合わせ先◆

一般社団法人東京TSネット

Mail: info-tokyo-ts@tokyo-ts.net

※電話でのお問い合わせは受け付けておりません。

東京 **TS** ネット

一般社団法人東京 TS ネット 5周年シンポジウム 「罪」と「障害」 ～誰もが共に生きる社会へ～

2021年3月13日開催

本日のタイムテーブル

第1部 TS（トラブルシューター）って？～今までとこれから

- 10:00～／東京TSネットの活動報告
- 10:20～／講演①野澤和弘さん
「TSの風景～私たちがめざしているもの」
- 10:50～／講演②浦崎寛泰さん
「東京TSネット草創期を振り返る～その原点と限界」
- 11:25～／ディスカッション

第2部 「罪」と「障害」～誰もが共に生きる社会へ

- 13:00～／講演①三宅晶子さん
「ヒューマン・コメディの採用支援～Chance!!が繋ぐ刑務所と社会～」
- 14:10～／講演②水藤昌彦さん
「障がいのある犯罪行為者への支援：これまでの到達点と今後の展開」
- 15:00～／講演③伊豆丸剛史さん
「“やさしい社会”への処方箋－罪を犯した人たちとの“出会い”が気付かせてくれたこと－」
- 15:45～／講演④野口晃菜さん
「届きづらい人にどう届けるか？－民間企業における少年院・刑務所との連携事例－」
- 16:20～／
シンポジウム「罪」と「障害」～誰もが共に生きる社会へ

★アンケートのお願い★

ご参加いただいた方には、最後にアンケートのご記入をお願いしております。
本セミナー後、以下の URL から、アンケートのご協力をお願いいたします。

<https://forms.gle/MCfSbJBfFX5mNy5n7>

